

第2次佐賀県健康プラン 最終評価の概要

佐賀県健康福祉政策課

第2次佐賀県健康プランの概要

※ 第2次佐賀県健康プランの概要の詳細は第1章を参照のこと

- 本計画は健康増進法第8条に定める都道府県計画
- 期間は2013年度～2023年度（10年計画であるが、国の計画「健康日本（第2次）」に合わせて1年延長した。）
- 本計画に基づき期間中は、「共に支え合い、健やかで心豊かに生活できる活力ある社会の実現」をめざし、5つの基本的な方向をもって、健康増進に取り組んだ。

- ①健康寿命の延伸・健康格差の縮小
- ②主要な生活習慣病の発症予防と重症化予防
- ③社会生活を営むために必要な機能の維持及び向上
- ④健康を支え、守るための社会環境の整備
- ⑤栄養・食生活、身体活動・運動、休養、飲酒、喫煙及び歯・口腔の健康に関する生活習慣及び社会環境の整備

- 新たな佐賀県の健康増進計画である第3次佐賀県健康プランを2024年度からスタートさせるため、2022年度は本計画の最終評価報告書を作成することになっている。

プランの最終評価の方法

※ 第2次佐賀県健康プランの最終評価の目的と方法は第2章を参照のこと

① 目標値が数値化されている指標

本計画策定時（2013年）に用いたベースライン値に対しての達成率を算出し、5つの区分で評価

A:改善している B:改善傾向にある C:変化していない
D:悪化傾向にある、悪化している E:評価できない

② 目標値が数値化されていない指標

本計画策定時（2013年）に用いたベースライン値に対しての改善率を算出し、3つの区分で評価

B:改善傾向にある C:変化していない D:悪化傾向にある、悪化している

3

プランの最終評価の方法

※新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、指標把握のための調査が中止となり最終評価のためのデータが得られなかったものがある。

【最終評価に用いるデータが得られなかったもの】

国民健康・栄養調査：栄養、食生活、身体活動（1日の歩数）
県民歯科疾患実態調査：歯周炎、未処置歯等を有する割合



これらの項目は、中間評価の際のデータを用いた。

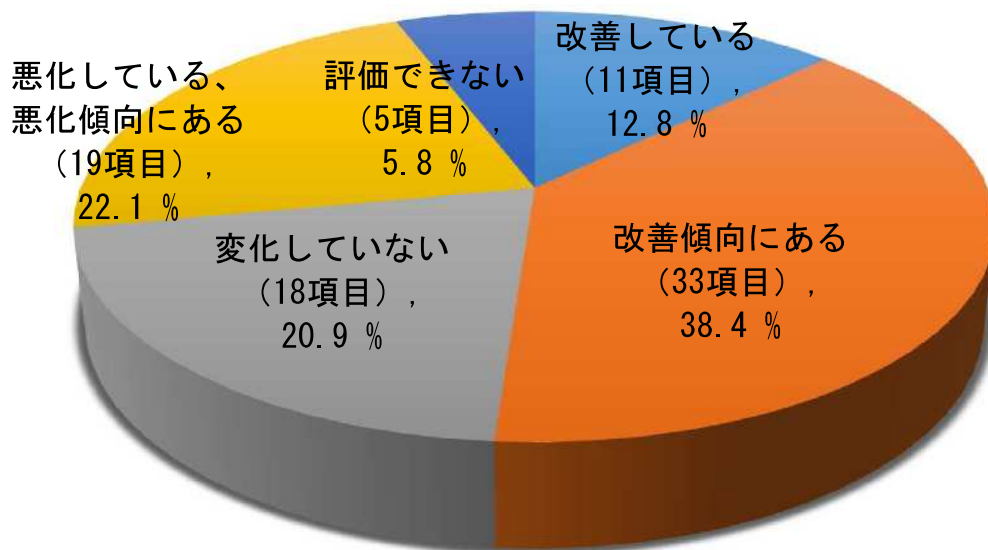
（補足：しかし、第3次佐賀県健康プランのベースライン値把握のため、今年度、県独自で調査を実施）

4

プランの最終評価の結果

※ 第2次佐賀県健康プランの最終評価の結果は第3章を参照のこと

最終評価指標の改善状況



結果)

「改善している」11項目

「悪化している、悪化傾向にある」19項目

「改善傾向にある」33項目

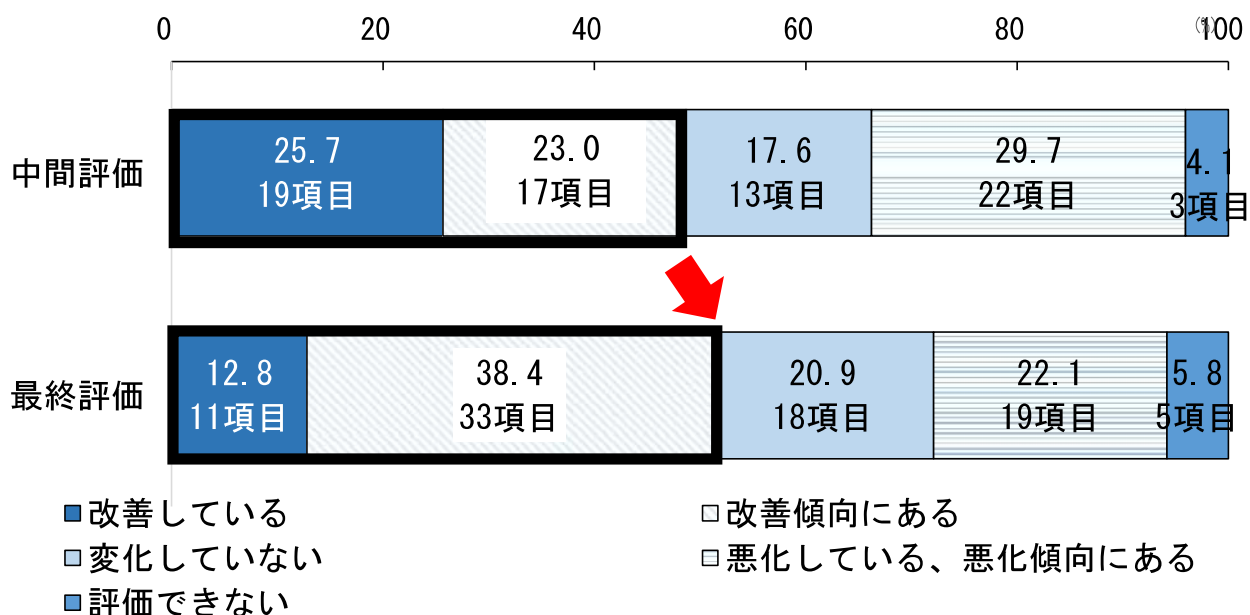
「評価できない」5項目

「変化していない」18項目

※全86項目

5

中間評価(2017)と最終評価(2022)の改善状況比較



結果) 「改善している」または「改善傾向にある」

中間評価48.7% → 最終評価51.2%。

※ 僅かではあるが増加した

6

第2次佐賀県健康プランの 最終評価（5つの領域）

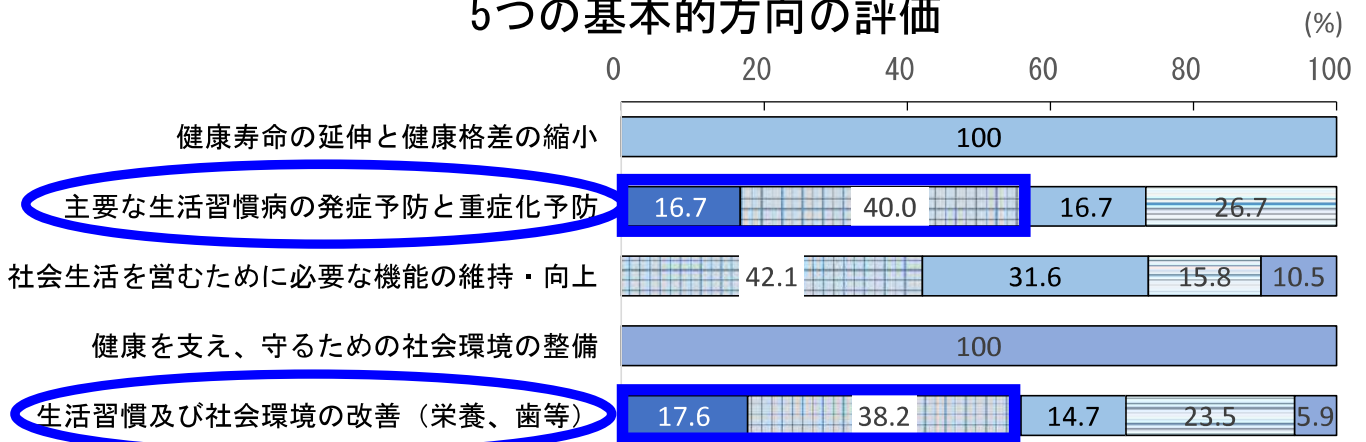
【参考資料】第2次佐賀県健康プランの最終評価（5つの領域）結果一覧

第2次佐賀県健康プランの最終評価（5つの領域） 結果一覧

指標	A	B	C	D	E	設定 項目数
(2) 主要な生活習慣病の発症予防と重症化予防						
(2) 指標の改善状況	5	12	5	8	0	30
ア がん	1	4	1			6
イ 循環器	4	4	1	4		13
ウ 糖尿病		4	2	4		10
エ COPD			1			1
(3) 社会生活を営むために必要な機能の維持・向上に関する目標						
(3) 指標の改善状況	0	8	6	3	2	19
ア こころの健康		3		1		4
イ 次世代の健康		1	6	2	2	11
ウ 高齢者の健康		4				4
(4) 健康を支え、守るための社会環境の整備						
(4) 社会環境整備	0	0	0	0	1	1
(5) 栄養・食生活、身体活動・運動、休養、飲酒、喫煙及び歯・口腔の健康に関する生活習慣及び社会環境の改善						
(5) 指標の改善状況	6	13	5	8	2	34
ア 栄養・食生活	1		3	5	1	10
①適正体重の維持	1			2		3
②適切な食事			3	3	1	7
イ 身体活動運動		5	1	2		8
ウ 休養			1			1
エ 飲酒				1		1
オ 喫煙	2	2			1	5
カ 歯・口腔	3	6				9
合計	11	33	18	19	5	86

「5つの基本的な方向」の改善状況

5つの基本的方向の評価



■改善している □改善傾向にある □変化していない □悪化している、悪化傾向にある □評価できない

結果)

「改善している」または「改善傾向にある」

「主要な生活習慣病の発症予防と重症化予防」の領域 → 56.7%

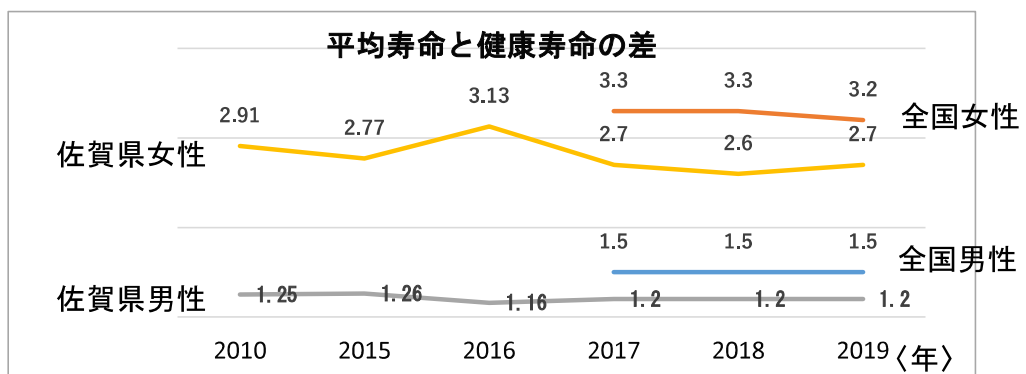
「栄養・食生活、身体活動・運動、休養、飲酒、喫煙及び歯・口腔の健康に関する生活習慣及び社会環境の改善」の領域 → 55.8%

10

指標ごとの評価と今後の方針

①健康寿命の延伸

※ 指標ごとの評価と今後の方針①は第3章P16～



目標及び指標	ベースライン値	年度	最終実績値	年度	最終目標	評価	
平均寿命と日常生活動作が自立している期間との差	男性	1.25年	2010	1.2年	2019	平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加	C
	女性	2.91年	2010	2.7年	2019		C

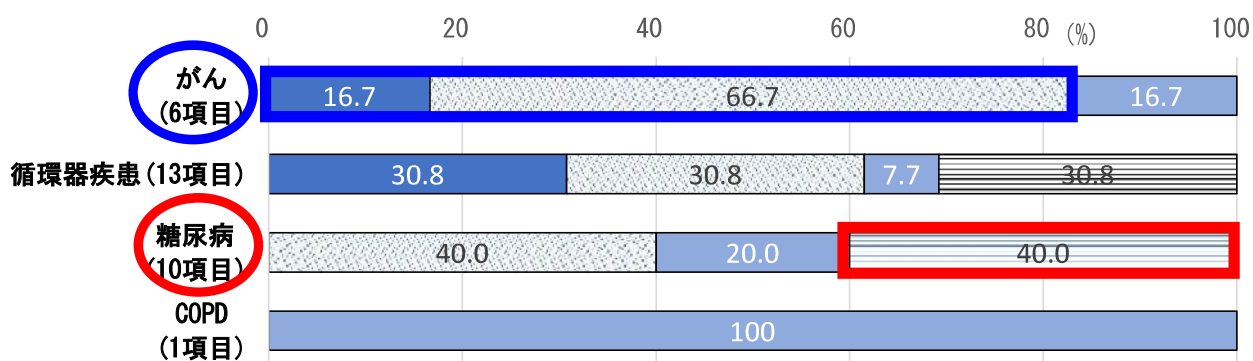
結果) ・健康寿命は少しずつ延びてきているが、平均寿命も同様
 ・健康寿命と平均寿命の差の推移は、男女ともにほぼ横ばい
 ・最終評価は「変化なし」

※今後も関係機関との連携による対象にあわせた対策が必要

11

② 主要な生活習慣病の発症と重症化予防

※ 指標ごとの評価と今後の方針②は第3章P18～



■改善している □改善傾向にある ■変化していない ▨悪化している、悪化傾向にある

結果) ・「がん」で「改善」または「改善傾向」の割合が高い
 ・「糖尿病」で「悪化している、悪化傾向にある」の割合が高い

※今後も「糖尿病」の項目の状況把握と対策は必要

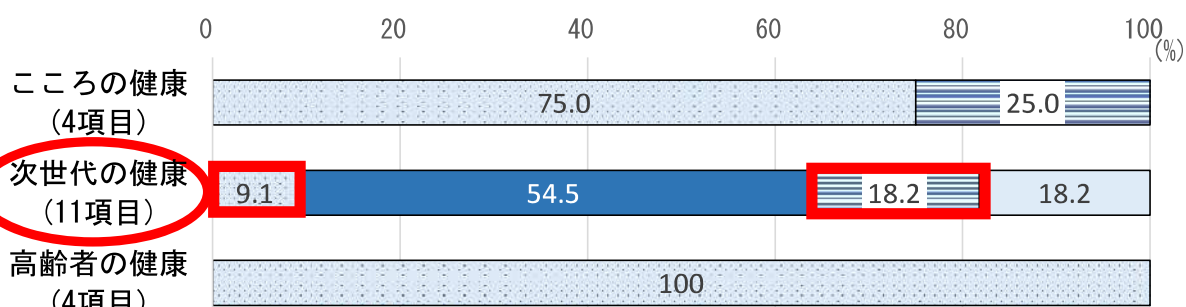
関連計画・会議、
キーワードとなる事業、関係課等

佐賀県がん対策推進計画 (がん撲滅特別対策室)
 佐賀県循環器病対策推進計画、佐賀県保健医療計画 (医務課)、
 「ストップ」糖尿病対策会議、「佐賀県糖尿病性腎症重症化予防プログラム」 (国民健康保険課)

12

③ 社会生活を営むために必要な機能の維持・向上

※ 指標ごとの評価と今後の方針③は第3章P26～



■改善している □改善傾向にある ■変化していない ▨悪化している、悪化傾向にある □評価できない

結果) ・「次世代の健康」で「変化なし」の割合が高く、「改善傾向」が9.1%と低い

※今後特に、「次世代の健康」の項目について取り組む必要がある
 (特に留意する項目：小学5年生男子の中等度・高度肥満児の割合)

関連計画・会議、
キーワードとなる事業、関係課等

佐賀県自殺対策基本計画 (障害福祉課)、ワーク・ライフ・バランスがとれる労働環境の実現 (産業人材課)、「健康経営」に取り組む事業所数の増加 (県・協会けんぽ)、佐賀県食育・食品ロス削減推進計画 (くらしの安全安心課)、「いただきますは野菜からベジスタ!」の取り組み、「スポーツチャレンジ」 (保健体育課)、ロコモティブシンドローム対策推進委員会、介護支援ボランティアポイント制度 (長寿社会課)

13

④健康を支え、守るための社会環境の整備

※ 指標ごとの評価と今後の方針④はP33

中間評価では「健康アクション佐賀21県民会議構成団体の増加」を目標に設定していたが、構成団体の追加募集を2016年までとしたため、指標の項目から外した。

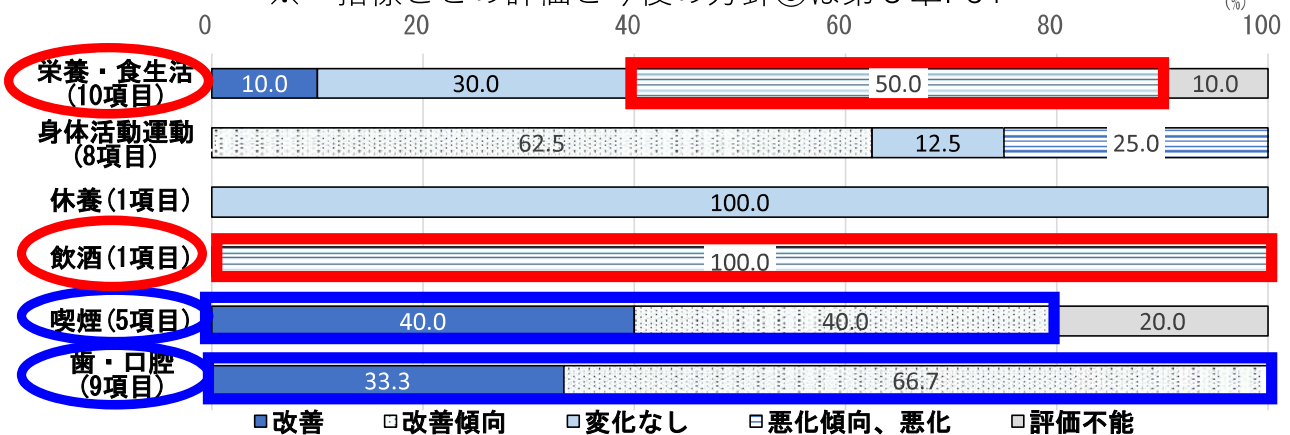
※今後はこれに変わる指標の設定の検討が必要

今後、特に連携を図る必要がある事業所や団体（案）	「さが健康維新県民運動 サポート企業」、優良認定事業所、CSO（市民社会組織）
今後の指標項目候補（案）	①「さが健康維新県民運動 サポート企業」及び、優良認定事業所等に登録する事業所数 等 ② 地域・グループへの参加状況（国民健康・栄養調査、県民健康意識調査 等）

14

⑤栄養・食生活、身体活動・運動、休養、飲酒、喫煙及び歯・口腔の健康に関する生活習慣及び社会環境の改善

※ 指標ごとの評価と今後の方針⑤は第3章P34～



結果) 「栄養・食生活」・「飲酒」は「悪化」「悪化傾向」の割合が高い

「喫煙」及び「歯・口腔」は「改善」「改善傾向」の割合が高い

※課題は「栄養・食生活」と「飲酒」（生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合を把握）

関連計画・会議、キーワードとなる事業、関係課等

(栄) 事業所向け健康づくり出前講座、「ベジスタ!」、県が推進する「健康な食事」提供店の普及、(運) ウォーキングアプリ「SAGATOGO」の普及、生涯スポーツとしての運動習慣者増加のための取り組み(スポーツ課)、(た)「健康増進法の一部を改正する法律」(望まない受動喫煙の防止を目的に制定)の周知啓発活動、義務違反者への改善依頼、防煙教育(教育委員会・学校等)、(歯) 佐賀県歯科保健計画、佐賀県口腔保健支援センターの運用、フッ化物洗口の実施

15

第3次佐賀県健康プラン策定に 向けた重点施策と方向性

※ 第4章はP47～

16

最終評価のまとめ

佐賀県の糖尿病の現状

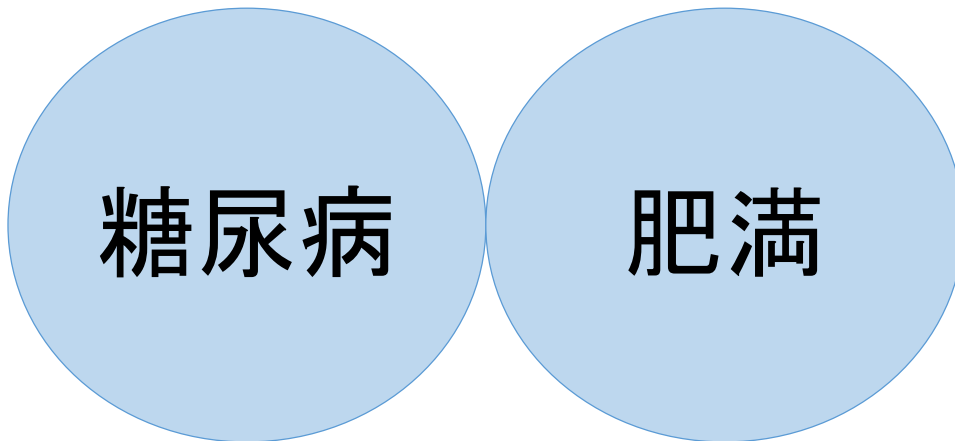
- 糖尿病性腎症による年間新規透析導入患者数は、患者数が減少し、改善傾向にある。
- しかし、糖尿病有病者の割合は悪化しており、高齢化に伴って糖尿病の有病者は今後も増加すると予想される。

佐賀県の肥満の現状

- 肥満の者の割合は男性女性ともに増加した。
- また、疾患別では肥満と関連性が強い脂質異常症の者の割合及びメタボリックシンドロームの該当者及び予備群の割合が増加した。
- さらには小学5年生男子の中等度・高度肥満傾向児の割合も増加傾向にある。
- このことから、今後も肥満者の割合の増加とそれに伴うメタボリックシンドロームや脂質異常症等の生活習慣病の有病者が増加すると予測される。

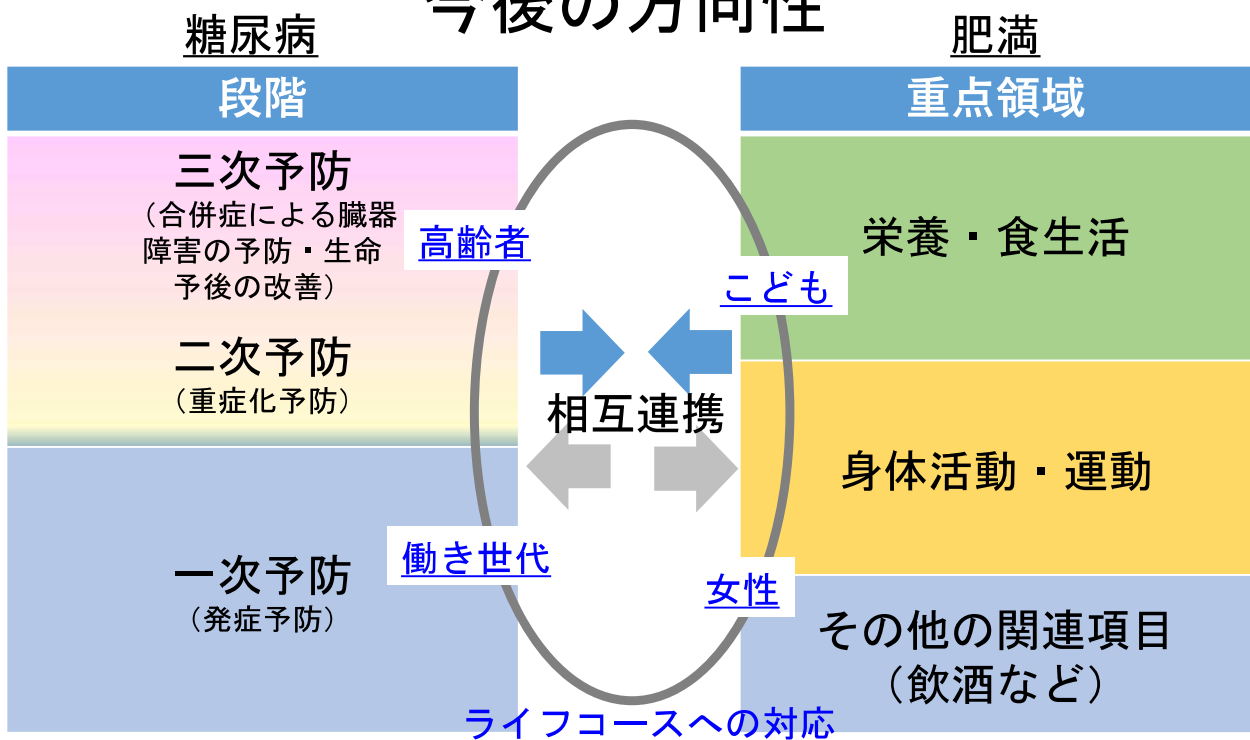
17

今後、県が取り組む 重点項目



20

今後の方向性



糖尿病対策：段階（発症予防・治療・重症化予防）に応じた取り組み
 肥満対策：関連領域（栄養・食生活、身体活動・運動、その他）での取り組み
※さらにライフコースも加味した関係機関との連携